

「つながる喜び、  
つなげる技術」を  
革新し続けていきます。

詳しくは中面をご覧ください。

# sMedio

# REPORT

Vol.1 第9期 中間株主通信 2015.1.1 → 2015.6.30

sMedio

証券コード：3913

sMedio IR

検索

<http://www.smedio.co.jp/company/ir/>



代表取締役社長

田中俊輔

## ごあいさつ

当社は3月27日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。これもひとえに、皆様のご支援・ご高配の賜物と深く感謝申し上げます。

当社は、めざましいスピードで進化するPCとポータブル機器に対して最先端のソフトウェアを高い競争力で提供することを目的に設立されました。

単に日本企業でなく、アジアから世界市場に製品とサービスを提供するアジア企業としてユニークな企業体系をとっており、“開発はアジアで市場は世界へ”を目指して2007年の設立以来マルチメディア系およびワイヤレスコネクティビティ系のソフトウェアの開発を進めております。これらの成果をベースに携帯機器やPC等のスマートデバイス向けマルチメディアソフトウェアとネットワークの分野に活動領域を広げてまいります。社会に貢献できる今より豊かなマルチメディアライフを多くの皆様が、使いやすい、分かりやすい、身近に感じられる形で享受できるよう、顧客満足度を第一に地道な企業努力をしております。

## sMedioとは?

当社は、PCやスマートデバイスへ向けて最先端のソフトウェアを高い競争力で提供することを目的に、2007年に創業いたしました。以来、業界を代表するパートナーの厳しい要求に応える製品開発に努め、ストリーミング、デジタルメディア再生、クラウドサービス、ワイヤレスコネクティビティ関連技術開発のリーディングカンパニーとして実績を重ねています。

スピード重視の技術開発力や国際展開力をベースに、急速に市場拡大が進むワイヤレスコネクティビティ分野へ挑戦しています。これからも、つながる喜びやつなげる技術を革新し続ける企業を目指していきます。

### sMedioの強み

新製品を開発・製品化するための全ての要素技術を習得しており、マルチOS・マルチデバイスに対応できることが当社の強みでもあり、他社にマネのできない先端的な製品開発の源泉となっています。

#### Media 処理技術

ビデオDecoder, Transcoder (HD H264, MPEG2/4等)、MediaFramework (Filter, Navigation, Container等)

#### 無線通信 技術

Wi-Fi, NAT traversal, Wi-Fi Direct, WiDi, Miracast, NFC, Bluetooth等

#### 著作権保護/ 認証技術

DTCP-IP, DTCP+ AACs, BD+, CPRM, HDCP 暗号化, Security Framework 等

ワイヤレスコネクティビティ関連製品を使うとこのようなことが可能になります。

※当社が保有する要素技術の一覧

寝室  
ホーム  
ネットワーク

外出先  
リモート  
アクセス

リビング  
ピアツーピア  
ネットワーク

このような技術の保有という強みを持つことにより、今後の主力製品となっていくワイヤレスコネクティビティ関連製品を幅広く提供することが可能となりました。様々なシーンで当社技術や製品が使われています。

## sMedioが目指すもの

スマートデバイスの普及や情報技術の進化は、近い将来、様々な機器がインターネットでつながる社会を実現しようとしています。

当社はアジアに開発拠点を置き、国境を越えたリソースを駆使し、開発スピードと競争力の強化を図った製品開発を行っています。

それは次世代の市場に対してシェアを獲得するためであり、これからも製品開発を加速していきます。挑戦はまだ続きます。

## 技術 開発力

明日をもっと  
コネクティブに。

インターネット化する社会。その進化を、技術力とグローバルな展開力で加速する。

## 新しい 魅力

お客様のために、  
というミッション。

そのデバイスに先進の機能を、新しい魅力を。お客様のバリューを高める、それが私たちのバリュー。

## 世界へ

アジアから世界へ。

人材や技術というリソースを、国境を越えて結集し、革新的なソフトウェアを、いち早く世界へ。

# sMedioの疑問にお答えする

当社をもっと知っていただくために、株主の皆さまへ社長がお答えします。

## ～魅力ある製品開発と急成長市場への挑戦～

### President Profile



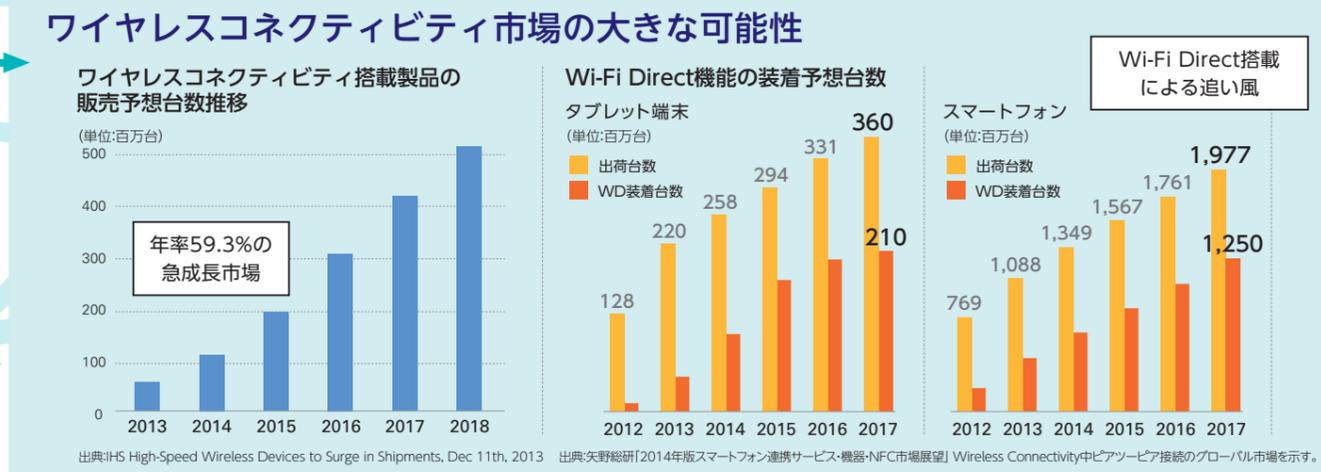
代表取締役社長  
**田中 俊輔**

当社代表の田中俊輔は昭和59年に千葉大学工学部を卒業後、一貫して画像処理・ビデオ処理の分野における半導体、システム機器、ソフトウェア開発を手掛ける企業、株式会社リコー、株式会社メガチップス、インタービデオジャパン株式会社等で開発やセールスおよびマーケティング業務に従事した後、平成20年に株式会社sMedioの前身であるビデオ株式会社代表取締役社長に就任しました。昭和62年から平成9年まで約10年間米国のシリコンバレーでの勤務経験を持ち、それらの経験を生かして今日に至っております。

### Q1 ワイヤレスコネクティビティの普及は、どのような背景があるのでしょうか？急成長する市場に対して、貴社の開発力やそのスピード感はいかがなものなのでしょうか？

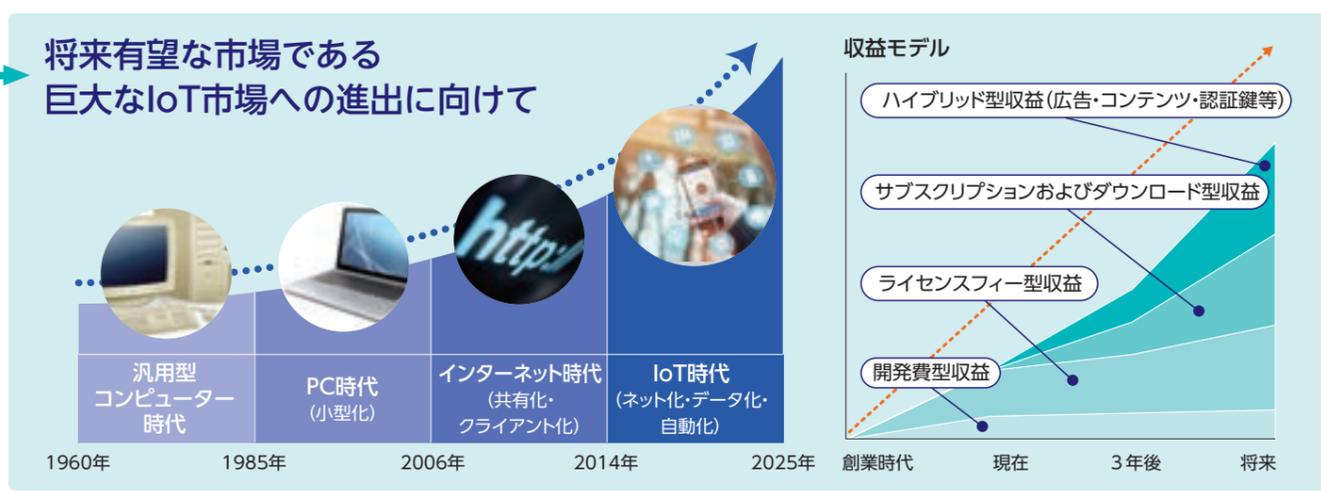
背景には、消費者のデバイス利用形態に、複数デバイスの同時使用(22%)があることが考えられます(Google: The New Multi-screen World, Aug 2012)。近年、高速**ワイヤレスコネクティビティ**搭載機は、成熟市場と言われるTV、タブレット、ノートPCでも2桁の高い成長率を示し(iSuppli: Display Electronics 2011 Topical Report)、ピアツーピア接続の新規格であるWi-Fi Directの装着台数も急伸しております。

このため、利便性の向上がより求められ、当社は独自の企画力と技術力を駆使してこれらの急成長する市場に対するソリューションとしてソフトウェアを提供していきます。既に近接接続から遠隔接続まで商品化しており、ストリーミング、クラウドサービス、ワイヤレスコネクティビティ関連技術開発のリーディングカンパニーとしてスピーディーに対応して実績を重ねています。



### Q2 将来的にワイヤレスコネクティビティ市場はどのような方向性に進んでいくのでしょうか？新しい時代に向けてのソフトウェア・サービス事業について教えてください。

ワイヤレスコネクティビティ市場の拡大は、日本政府も後押しをしているIoT市場へとスムーズに発展していきます。IT市場は汎用コンピュータ時代から、小型化およびパーソナル化が進行したPC時代、さらに情報の共有化とクライアント化が進んだインターネット時代へと進行していき、今、ネット化、データ化、自動化が進行するIoT時代が始まろうとしています。当社は得意であるワイヤレスコネクティビティのソフトウェアソリューションからIoT時代のニーズにあったソフトウェアソリューションを開発し、またサービスとして提供していく予定です。時代の進行とともに収益モデルも主力であるライセンスフィー型収益から**サブスクリプション型**/ダウンロード型収益へとシームレスに移行、拡張していく予定です。



### 用語解説

**ワイヤレスコネクティビティ**  
近接接続から遠隔接続まで無線技術により、情報やメディアを共有・再生・転送を行ったりすること。

**IoT**  
Internet of Thingsの略称。モノのインターネットとも呼ばれ、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信すること。

**サブスクリプション**  
ソフトウェアの利用形態のひとつで、ソフトウェアを買い取るのではなく、ソフトウェアを借りて、利用した期間に応じて料金を支払う方式のこと。

### Q3 創業当初からアジアに開発拠点を置いたことで、開発スピードと競争力の強化を図ることはできましたか？国境を越えたリソースを駆使することで、新技術や新製品の市場投入は早まったのでしょうか？

当社の製品開発スピードの速さとその独自性の一因は海外のリソースを有効に活用している点あげられます。アジアに開発拠点を置いたのは、マルチメディアやネットワーク、セキュリティー関連の技術に対してデファクトスタンダードに習熟した優秀な技術者が低コストで確保できたことです。マーケティングと製品企画は国内で行うことでアジアの開発拠点では製品開発に集中できる体制をとっています。またMicrosoft Corp.やOracle Corp.という業界大手と連携し、有力顧客との頻繁な打合せにより新技術の動向、新製品の市場投入をタイムリーに行う体制がとれています。海外の顧客比率も国内の同業他社と比較して高く、今後も海外展開には注力していく予定です。

### 新製品開発インフラと販売インフラについて

**日本、米国、カナダ、中国、台湾**

業界大手パートナー企業との協業

- マイクロソフト
- インテル
- コーレル
- オラクル
- 他

**新技術・新製品の市場投入**

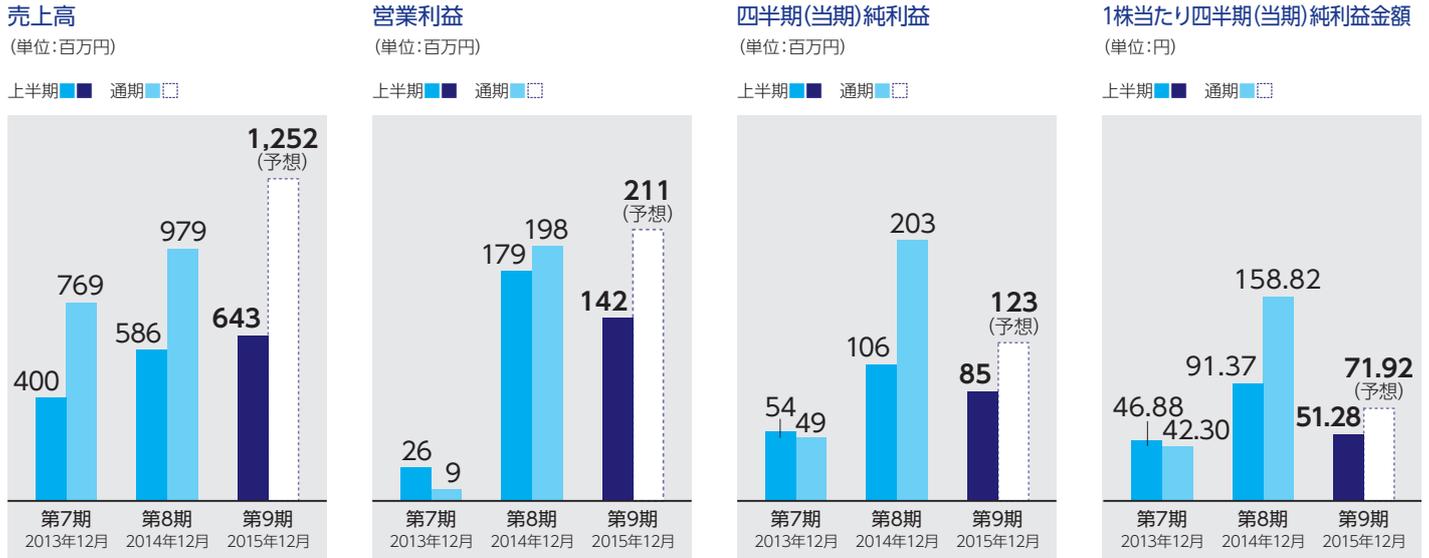
- 経験豊富な経営陣のアイデア
- 市場動向の収集
- 経営陣の業界ネットワーク

**米国、中国、台湾**

有力顧客との頻繁な打合せ

- 東芝
- 富士通
- シャープ
- 他

# 連結業績ハイライト



## 株主インフォメーション

### 会社の概要 (2015年6月30日現在)

社名	株式会社sMedio	
本社所在地	〒108-0073 東京都港区三田3-13-16 三田43MTビル7階	
設立	2007年3月16日	
資本金	4億7,014万738円	
従業員数	54名 (役員含まず、子会社従業員含む)	
役員	代表取締役社長	田中 俊輔
	常務取締役	岩本 定則
	取締役	黄 七零
	取締役	中村 嘉伸
	取締役	李 欣欣
	取締役 (社外)	落合 洋司
	取締役 (社外)	渡邊 雅文
	監査役 (常勤)	石津 健鳳
	監査役	光岡 誠治
	監査役	本郷 喜千
関連子会社	sMedio, Inc. Taipei Branch (台湾支店) sMedio Technology (Shanghai) Inc. (中国) sMedio America Inc. (米国) 株式会社情報スペース	

### 株式の状況 (2015年6月30日現在)

発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式の総数	1,785,193株
株主数	1,506名

### 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
配当支払株主確定日	12月31日 (期末配当) 6月30日 (中間配当)
1単元の株式数	100株
証券コード	3913
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
公告掲載方法	電子公告により行う。やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は日本経済新聞に掲載する方法により行う。

### IRカレンダー

2015年	9月	
	10月	
	11月	●第3四半期決算発表
	12月	
2016年	1月	
	2月	●決算発表
	3月	●定時株主総会
	4月	
	5月	●第1四半期決算発表
	6月	
	7月	
	8月	●第2四半期決算発表

## 株式会社sMedio

〒108-0073 東京都港区三田3-13-16 三田43MTビル7階



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。